

Bluetooth® イヤーセット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- 警告**
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DR-BT1



© 2004 Sony Corporation Printed in Malaysia

主な特長

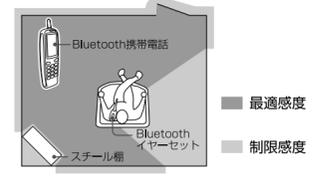
本機は、Bluetooth無線技術を使用したBluetoothイヤーセットです。お使いのBluetooth携帯電話と組み合わせるだけで、快適なワイヤレス通話を行うことができます。

- お使いの携帯電話（Bluetooth内蔵）を使用し、ワイヤレス通話可能なBluetoothヘッドセット
- 簡単な装着、左右両用、耳かけ式ヘッドセット
- 車載エアコンの吹き出し口に取り付け可能なカーアタッチメント付属
- 7時間以上の連続通話と160時間以上の待ち受けが可能
- 小型軽量フレキシブルパイプマイクロホン採用
- ボリュームコントロール機能搭載

Bluetoothについて

Bluetoothとは、ワイヤレス通信の新しい技術です。携帯電話やノートパソコン、その他モバイル機器間のワイヤレスコミュニケーションを可能にします。Bluetooth無線技術は、約10m*の範囲内で通信を行うことができます。

- 障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、通信有効範囲は変動します。



ご注意

- Bluetooth通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
 - BluetoothイヤーセットとBluetooth携帯電話の間
 - 人体や金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など

機器認定について

本機は、電波法に基づき小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.400 GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項	
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。	
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。	
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。	
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。お客様ご相談センターについては、本取扱説明書をご覧ください。	
2.4 F H 1	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetoothは、その権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。

準備

本体と付属品を確かめる

本機をお使いになる前に、すべてそろっているか確かめてください。

- Bluetoothイヤーセット（1台）



- ハンガー（S）（1本）



- 充電器（1台）



- ACパワーアダプター（1個）



- カーアタッチメント（1セット）



- ソニーご相談窓口のご案内
- 保証書
- 取扱説明書

その他のご注意

- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう1度このマニュアルをよく読んでから、お客様ご相談センター、またはお買い上げ店にご相談ください。
- 万一、異常が起きたら、お客様ご相談センター、またはお買い上げ店に修理を依頼してください。

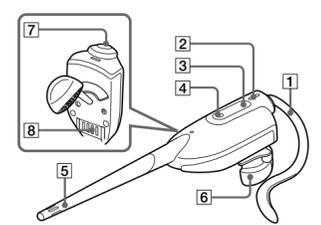
カーアタッチメントご使用の注意

- 運転の前に事故や損傷を防ぐために、きちんと固定されているかご確認ください。
- 運転中は充電器の出入れをしないでください。
- 本機を、高温の車内に放置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機を、運転中に操作することは、落下することもありますので、ご注意ください。
- カーアタッチメントは、本機専用です。その他のものを取り付けないでください。落下などで事故や損傷の原因になることがあります。
- 本機には、小さい部品がありますので、お子様や乳幼児の手の届くところに置かないでください。

各部のなまえと働き

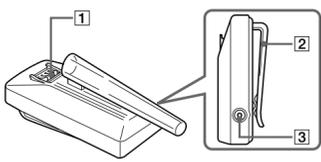
Bluetoothイヤーセット

（以降、本文中では「イヤーセット」と表記します。）



- ハンガー
- LED
イヤーセットの状態を表示します
- ボリューム＋
- ボリューム－
- パイプマイクロフォン
- ハウジング
- マルチボタン
イヤーセットの様々な機能を操作します
- 充電用接点

充電器

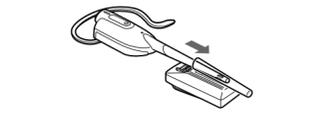


- 充電用接点
- ベルトクリップ
- DC IN 4.5 V端子

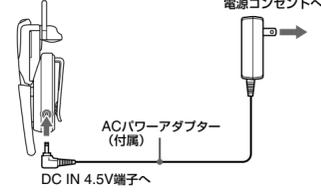
本機を充電する

イヤーセットはリチウムイオン充電電池が内蔵されています。本機をご購入後、充電してからお使いください。

- イヤーセットと充電器を合体させる。

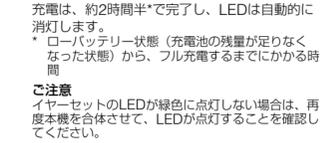


- 付属のACパワーアダプターを、充電器のDC IN 4.5V端子に接続する。ACパワーアダプターを電源コンセントへ差し込みと充電が開始されます。



- ヒント**
イヤーセットの電源が入っている場合は、自動的に電源が切れます。

- イヤーセットのLEDが、緑色に点灯していることを確認する。



警告
本機は以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると、LEDが緑色の点滅をしたり、充電が完了していても消灯したりすることがあります。

- 動作保証温度範囲（0℃～40℃）を超える場合
- 一充電に問題がある場合
 - この場合、もう1度上記の温度範囲で充電を行ってください。
 - それでも問題が解決しない場合は、お近くのソニーご相談窓口にご相談ください。

- ご注意**
 - 充電中は本機の電源が自動的にオフになります。
 - 充電は0℃～40℃の環境で行ってください。
 - 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気の衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
 - 付属のACパワーアダプターは本機専用です。他のACパワーアダプターは使用しないでください。

ローバッテリー表示について

充電電池の残量が足りなくなった場合、通常青色で表示していたLEDが、緑色で表示するようになります。この場合、すぐに充電を行ってください。ご使用後は充電を行うことをお勧めします。

フル充電時の使用可能時間

イヤーセット	
連続通話	最大7時間
連続待ち受け	最大160時間

周囲の温度や使用状態により、上記の使用可能時間と異なる場合があります。

- ご注意**
 - 長い間お使いにならなかったときは、電池の持続時間が短くなることがあります。この場合、何回か充電を繰り返すうちに電池性能が回復されます。
 - フル充電時の使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電電池の寿命と考えられます。充電電池の交換については、お買い上げ店またはお近くのソニーご相談窓口にご相談ください。

イヤーセットを装着する

- イヤーセットを眼鏡をかけるように、耳の後ろに沿わせて回し込む。



- イヤーセットが、耳にきちんと装着されるように調整する。

ハンガーの向きを変える

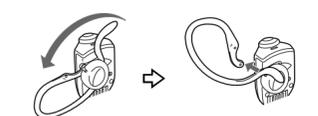
本機は左右、両方の耳に装着することができます。

例：左耳仕様から右耳仕様へ変える

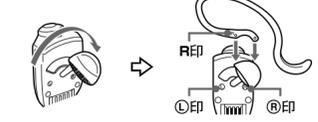
- ハウジングをしっかりと持って、ハンガーのロックをはずす。



- ハウジングを押さえたまま、ハンガーを引き抜く。



- ハウジングを反対側に回転させ、ハウジングのみぞに合わせてハンガーを取り付ける。



ご注意

ハウジングとハンガーには、それぞれ左側にはL印、右側にはR印があります。右耳で使うときには、ハウジングをRの位置にし、ハンガーはR印が見える状態で取り付けてください。

ヒント

本機には、2種類のサイズの異なるハンガーが付属しています（ハンガー（M）はイヤーセットに付いた状態で出荷されます）。装着して耳にサイズが合わないと感じたときは、別のハンガーに交換してください。

操作

使いかた

イヤーセットは、Bluetoothを使用して、Bluetooth機能を搭載した携帯電話と、直接接続して使用することができます。

イヤーセットの電源を入れる/切る 電源を入れる

LEDが青く数回点滅するまでマルチボタンを約7秒間押し続ける。

電源が入り、LEDが青く3秒間隔で点滅します。



- ご注意**
マルチボタンを10秒以上押し続けると、ペアリング操作時の検索待ち状態になりますのでご注意ください。

ヒント
イヤーセットを耳に装着しているときは、低/高のビープ音で、電源が入ったことが確認できます。

電源を切る

LEDが緑に数回点滅して消えるまでマルチボタンを約3秒間押し続ける。



ご注意
電源を切ったとき、現在の音量レベルが保存されます。ただし、本機を充電する際に自動的に電源が切られた場合は保存されません。

- ヒント**
イヤーセットを耳に装着しているときは、高/低のビープ音で、電源が切れたことを確認できます。

はじめに

イヤーセットとBluetooth携帯電話をペアリングする

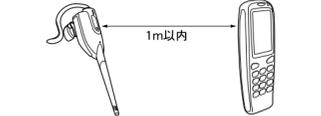
お使いになる前に、イヤーセットと携帯電話をペアリングする必要があります。いちど携帯電話にイヤーセット(DR-BT1)が登録されれば、ご使用ごとに再度ペアリングをする必要はありません。ただし、次の場合は再度ペアリングが必要となります。

- イヤーセットを他のBluetooth機器とペアリングした場合
- 携帯電話でDR-BT1の登録を削除した場合

ご注意

携帯電話側での操作については、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

- イヤーセットと携帯電話を、1m以内に置く。



- イヤーセットの電源がオフの状態 で、マルチボタンを約10秒間押し続ける。

イヤーセットのLEDが青色と緑色に交互点滅を始めたらボタンをはずしてください。イヤーセットが検索待ち状態になります。



ご注意
約7秒後にLEDが青色の点滅をしますが、ボタンをはずさないでください。

- 携帯電話を操作してイヤーセットを検索する。

検索された機器の一覧が携帯電話の画面に表示され、イヤーセットは「DR-BT1」と表示されます。

ご注意

イヤーセットの検索待ち状態は、約60秒で解除されます。携帯電話の検索が終了する前に、イヤーセットのLEDが青色の点滅（3秒間隔）に戻った場合は、もう1度手順1から操作を行ってください。

- 携帯電話を操作して、画面に表示されている「DR-BT1」を選択し決定する。

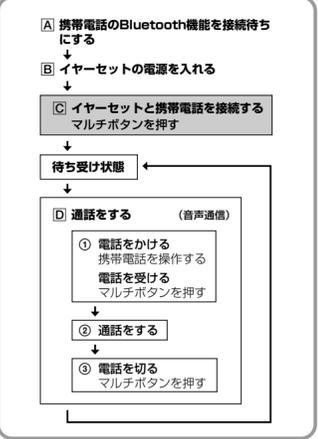
- 携帯電話から「パスキー」の入力を要求されたら「0000」を入力する。

イヤーセットのLEDが、青色と緑色の交互点滅から青色のゆっくりとした点滅（3秒間隔）に変わったら、ペアリングの完了です。このとき、お使いの携帯電話の画面に「登録完了」などと表示されます。

- 「パスキー」は、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

基本の操作

操作の流れは下記の通りです。



A 携帯電話のBluetooth機能を接続待ちにする

携帯電話のBluetooth機能を有効にし、イヤーセットとの接続が可能な状態にする。携帯電話側での操作については、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

B イヤーセットの電源を入れる

詳しくは「イヤーセットの電源を入れる/切る」を参照してください。

C イヤーセットと携帯電話を接続する

イヤーセットのマルチボタンを押す。

携帯電話の操作で接続できる携帯電話もあります。

ご注意

下記の状態では、イヤーセットと携帯電話を再度接続する必要があります。

- イヤーセットの電源がオフになっている
- 携帯電話の電源や、Bluetooth機能がオフになっている
- イヤーセットや、携帯電話のBluetooth機能がスリープ状態になっている
- Bluetooth接続が切断されている

携帯電話のBluetooth接続やその機能については、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

D 通話をする

電話をかけるには：

お使いの携帯電話のボタンを押して電話をかけてください。イヤーセットから音が聞こえない場合は、マルチボタンを押してください。

ヒント

携帯電話の機種によっては、下記のような方法で電話をかけることができます。詳しくは、携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

- 待ち受け状態のときに、マルチボタンを押すことで、ボイスダイヤル機能を使って電話をかけることができます。
- ボリューム＋ボタンを長押しすることで、リダイヤルすることができます。（ハンズフリープロファイルでの接続時）
- マルチボタンを押すことで、特定の番号へ電話をかけることができます。

電話を受けるには：

電話がかかってきたら、着信音がいヤーセットから聞こえます。イヤーセットのマルチボタンを押して、電話を受けてください。イヤーセットから聞こえる着信音は、携帯電話によって異なります。

- イヤーセットの着信音
- 携帯電話の着信音(Bluetooth使用時は、専用の着信音になる場合もあります)

ご注意

携帯電話のボタンを押して電話を受けた場合、機種によっては、携帯電話での通話が優先されることがあります。この場合、イヤーセットのマルチボタンを押したり、携帯電話を操作して、音声通信をイヤーセットに切り換えてください。携帯電話側での操作については、お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

電話を切るには：

イヤーセットのマルチボタンを押し、通話を終了してください。

- 下記の場合、音声通信は自動的に切断されます。
 - 携帯電話のボタンを押して電話を切ったとき
 - 通話相手が先に電話を切ったとき

音声通信中のLED表示

イヤーセット：青色3回点滅(3秒間隔)

その他の操作

音量を調節するには

携帯電話との音声通信がされているときに、ボリューム＋/－ボタンを押します。ボタンを押すたびに、音量レベルに応じたビープ音が聞こえます。また、音量が最大や最小のときには、ビープ音は鳴りません。



ヒント

携帯電話の受信音量を大きめにし、イヤーセットのボリュームを適度な音量にすることで、高音質な通話ができます。

ご注意

ヘッドセットプロファイルにてお使いの場合、待ち受け時に音量を調整することはできません。ただし、現在の音量をビープ音の大ききでお知らせします。

イヤーセットのボタン操作

携帯電話との接続には、ヘッドセットプロファイルまたはハンズフリープロファイルのどちらかが使用されます。どちらのプロファイルが使われるかは、携帯電話によって異なり、サポートする機能も異なります。お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

ヘッドセットプロファイル*1

	マルチボタン	ボリューム＋/－ボタン		
状態	短押し	長押し	短押し	長押し
電源オフ	—	電源オン	—	—
待ち受け	—	電源オフ	—	—
ボイスダイヤル 開始	ボイスダイヤル 解除	電源オフ	—	—
呼び出し	着信	電源オフ	—	—
通話中	通話終了	電源オフ	音量調整	マイクミュート*2

ハンズフリープロファイル*1

	マルチボタン	ボリューム＋/－ボタン		
状態	短押し	長押し	短押し	長押し
電源オフ	—	電源オン	—	—
待ち受け	ボイスダイヤル 呼び出し	電源オフ	音量調整	リダイヤル
ボイスダイヤル 設定中	ボイスダイヤル 解除	電源オフ	—	—
呼び出し	着信	拒否	—	—
通話中	通話終了	電源オフ	音量調整	マイクミュート*2

^[1] ご使用のBluetooth携帯電話によっては、いくつかの機能をサポートしていない場合があります。お使いの携帯電話に付属の取扱説明書をご参照ください。

^[2] マイクミュート時は、3秒間隔でビープ音が聞こえます。マイクミュートを解除するには、ボリューム＋/－ボタンを押してください。

本機のLED表示について

状態	イヤーセット
電源オン操作時	青が1秒間点滅
電源オフ操作時	緑が2秒間点滅
待ち受け	青が3秒ごとに点滅
通話中	青の3回点滅が3秒ごとに点灯
検索待ち状態	青と緑が交互に点滅

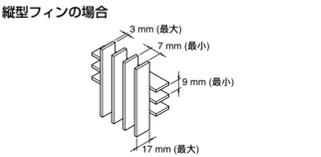
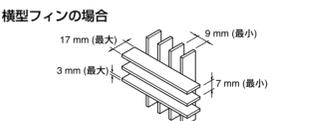
ご注意

- 充電電池の残量が足りなくなった場合、通常青色に点滅しているLEDが、緑色で表示されるようになります。
- イヤーセットのマルチボタンを押したときに、イヤーセットのLEDが青色の2回点滅を3回から5回ほど繰り返す場合は、機器間の通信ができていません。以下の事項を確認してください。
 - Bluetooth携帯電話の電源が切れている
 - イヤーセットとBluetooth携帯電話とのペアリングが正しくされていない
 - Bluetooth携帯電話のBluetooth機能が動作していない

カーアタッチメントの使いかた

付属のカーアタッチメントは、車のエアコン吹き出し口に装着することによって、充電器を取り付けることができ、車内での使用に便利です。

取り付け可能な吹き出し口の寸法



ご注意

- カーアタッチメントは、上記に該当しても取り付けできない場合があります。取り付けが困難な場合は、無理に取り付けしないでください。フィンを壊す恐れがあります。
- 無理に取りはずししたりしないでください。フィンを壊す恐れがあります。
- エアコンの吹き出し口やダッシュボードの損傷を防ぐため、必要であればテープなどで補強してください。
- エアバックの機能や運転の妨げになるような位置に取り付けしないでください。
- エアコンの吹き出し口にオートスイング機能がついている場合は、その機能を停止してください。

カーアタッチメントを取り付ける

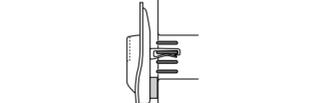
- カーアタッチメント背面の穴に、フックのみぞを確実に取り付けます。



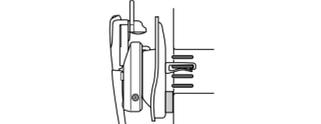
- カーアタッチメントの背面に、スぺーサーを両面テープのシールをはがしてから取り付けます。



- エアコンの吹き出し口に、フックがしっかりと引っかかるように差し込む。

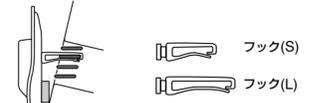


- 充電器のベルトクリップをカーアタッチメントに差し込む。



ヒント

- エアコンの吹き出し口が傾いているときは、別のフック（L）を使用してください。



- カーアタッチメントの裏にあるみぞをずらすことで、角度を微調整することができます。



- エアコンのフィンが縦型の場合は、フックを横向きに取り付けてから差し込んでください。



- カーアタッチメントが不安定なときは、もう1つ付属しているスぺーサーを加工して、安定させてください。

カーアタッチメントを取りはずす

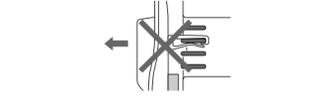
- カーアタッチメントを上向きにし、奥に押し込む。



- フィンを押さえながら、カーアタッチメントを取りはずす。



ご注意
フィンが引っかかったままカーアタッチメントを取りはずさないでください。破損する場合があります。



▶ その他

本機を廃棄する

イヤークセットはリチウムイオン充電電池が内蔵されています。環境保全のために、本機を棄てる際には、中にある充電電池を取りはずし適切に電池を廃棄してください。

- 背面にある2つのネジを取りはずす。



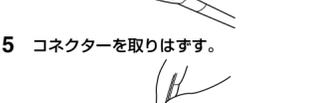
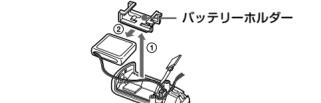
- イラストの矢印あたりを強く押し、組み立てられた部分をはずす。



- パイプマイクロフォンをゆっくりと持ち上げる。



- 充電電池をバッテリーホルダーから取り出す。



ご注意
電池を取りはずすときは、バッテリーボックス（黒いプラスチック製）を持ち、充電電池についている基板に触らないよう注意してください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

通話相手の声が聞こえない
→ イヤークセットおよびBluetooth携帯電話の電源が入っているか確認する。
→ イヤークセットとBluetooth携帯電話が接続されているか確認する。
→ Bluetooth携帯電話の設定が、通話中にイヤークセットを使うようになっているか確認する。
→ Bluetooth携帯電話およびイヤークセットの受信音量を大きくする。
→ 他のBluetooth製品と組み合わせた場合は、再度イヤークセットとBluetooth携帯電話をペアリングしてください。

通話相手からの声が小さい
→ Bluetooth携帯電話およびイヤークセットの受信音量を大きくする。

自分の声が通話相手に聞こえない、もしくは小さい。
→ イヤークセットのマイクがミュートになっているときは、ボリュームボタンを押してミュートを解除してください。（ミュートのときは、プープーツというピープが聞こえます）。

電源が入らない
→ 本機を充電する。
→ 充電中は電源を入れることができません。充電器からAC/パワーアダプターをはずしてください。

通信距離が短い（音声にノイズが入る）
→ イヤークセットとBluetooth携帯電話の間に障害物がある場合は、障害物避开るか取り除いてください。
→ 無線LANや他のBluetooth製品、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。

ペアリングができない
→ イヤークセットとBluetooth携帯電話をなるべく近づけてから、再度ペアリングを行ってください。

イヤークセットの充電ができない
→ イヤークセットのLEDが緑色に点灯するように、再度充電器と合体させてください。
→ イヤークセットと充電器の充電用接点が汚れている場合は、やわらかい布などで軽くふいてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは**まずチェック**をこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではイヤークセットの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

概要	
通信方式 <div>出力</div>	Bluetooth 標準規格 Ver. 1.1 <div>Bluetooth 標準規格 Power Class2</div>
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯 <div>(2.400 GHz～2.4835 GHz)</div>
最大通信距離 <div>付属品</div>	見通し距離 約10 m <div>充電器(1)、AC/パワーアダプター(1)、ハンガー(S)(1)、カーアタッチメント(1)、取扱説明書(1)、保証書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)</div>

Bluetooth イヤークセット DR-BT1	
対応 Bluetooth	プロファイル
	Headset Profile, Hands-free Profile
電源	DC 3.7 V: 内蔵リチウムイオン充電電池
連続通話時間	7時間
連続待受時間	160時間
質量	約20 g

<レシーバー>	
形式	オープンエアダイナミック型
ドライバーユニット	13.5 mm、ドーム型(CCAW採用)

音圧感度	104 dB/mW
インピーダンス	16 Ω at 1 kHz
最大入力	50 mW(IEC)
再生周波数帯域	50～20,000 Hz

<マイク部>	
型式	フレキシブルパイプマイクロホン
マイクユニット	エレクトレットコンデンサー型
インピーダンス	2.2 kΩ以下
開回路電圧レベル	

	-49.5 dB(0 dB = 1 V/Pa)
有効周波数帯域	100～5,000 Hz
* IEC (国際電気標準会議) 規格による測定値です。	

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓ 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、AC/パワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、AC/パワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- 電源を切る
- AC/パワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く
- お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口へ修理を依頼する

※ 火災や感電の恐れがある場合は、必ず電源を切ってください。

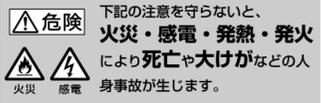
⚠ **警告**
下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけどや大けが**の原因となります。

⚠ **危険**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠ **警告**
この表示の注意事項を守らないと、火災・発熱・発火・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ **注意**
この表示の注意事項を守らないと、漏液・破裂・発熱・発火・感電などによりやけどやけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号			
行為を禁止する記号			
行為を指示する記号			



指定以外のACパワーアダプターを使わない
充電するときは、必ず指定のAC/パワーアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない
禁止

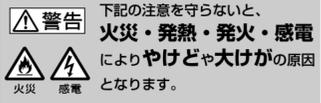
分解しない
故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はお客様ご相談センターまたはお客様お買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



火のそばや炎天下などで充電したり放置しない

禁止

⚠ **警告**
下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけどや大けが**の原因となります。



交通安全のために
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転中は携帯電話機を操作しない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではイヤークセットは使わないでください。



内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC/パワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない
AC/パワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、充電用接点や電源プラグに触れない
感電の原因となります。

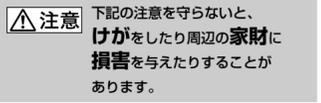


ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない
感電の原因となることがあります。



本体やACパワーアダプターを布団などでおたった状態使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



大音量で長時間続けて聞きすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。イヤークセットにつないでいる機器によってはハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- このイヤークセットは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎてもまわりの人の迷惑にならないように気を付けましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤークセットで聞くときは、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。



はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。



通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

かゆみなど違和感があつたら使わない
イヤークセットが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはお客様ご相談センター、またはお買い上げ店にご相談ください。



本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機を医療機器の近くで使わない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。薄良電卓などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離すこと

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

長時間使用しないときはACアダプターを抜く
長時間使用しないときは、安全のためAC/パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機は、国内専用です
海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ **危険**
充電式電池の液が漏れたとき
素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠ **危険**
充電式電池について

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートをさせない。
- 外装のビニールチュウプをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にシロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

- お客様ご相談センター
- ナビダイヤル……………☎0570-00-3311

(金土日曜からもお電話いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は **03-5448-3311**

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

- FAX……………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35